

# 学校施設の充実を

## 16日間連続の猛暑日 「暑すぎて勉強できません」

### 授業に集中できない！



土屋ともりのりです。

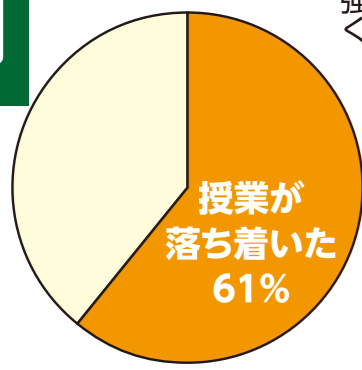
### 普通教室へ クーラー早く！

今年、16日間連続の猛暑日が続き、16日間連続の猛暑日が続きました。エアコンのない学校で、集中して勉強するには、あまりにも過酷です。「子どもが学校からのぼせて真っ赤な顔で帰ってくる」「授業に集中できない」など、悲痛の声が寄せられています。福山市で、小・中学校の教室へエアコンを設置した場合、一教室、約230万円ですが、計画的な予算配分で、設置は可能です。

市は、9月議会本会議で「夏休み前、10時の平均値は30.4℃、14時の平均値は31.4℃であり、最も高かった学校は、34.1℃だった」「扇風機のほか、グリーンカーテンなどの自然を利用した暑さ対策を実施する」と、答弁しました。しかし、こんなに暑い教室では、授業に集中できません。

広島市では、校舎の耐震補強工事と併せて、全小・中学校と市立幼稚園にエアコンを設置します。

また、全小・中学校にエアコンをつけた京都府長岡京市では、設置後に、授業態度が「落ち着いた」と、61%の先生が回答しています。子ども達に、豊かな教育環境を提供するために、いち早く、小・中学校にエアコンを設置することを強く要望しました。



クーラー設置後の様子について (長岡京市の教員319人への聞き取り)

# 障がい者・高齢者福祉の充実を!



河村ひろ子です。

### 重症心身障害者 福祉年金復活 透析患者の願い 届ける

民生福祉委員会で、河村ひろ子市議は、患者の生活実態を明らかにしながら、福祉年金の復活を強く求めましたが、日本共産党以外の全会派の反対で請願は否決されてしまいました。引き続き、福祉の充実を目指して、全力で頑張ります。

今年6月の支給を最後に、『福山市重症心身障害者福祉年金』は廃止となりました。

9月議会には、透析患者を中心とした、「NPO法人広島県腎友会」のメンバーが、この制度の復活を求めて1971人分の請願署名を提出しました。

透析患者は、週2〜3回の通院が必要ですが、福山市重症心身障害者福祉年金を交通費に充てているケースもみられます。少なくない透析患者は、低所得での生活を余儀なくされ、厳しい生活を強いられています。

会派名	請願採択
水曜会	× (反対)
誠勇会	× (反対)
公明党	× (反対)
市民連合	× (反対)
新政クラブ	× (反対)
無所属(2人)	× (反対)
日本共産党	● (賛成)

日本医学会の調査によると、慢性透析患者数は全国で約30万人、広島県は約7800人です。福山市の調査によると、障がい者が今後利用したいサービスは「通院時の送迎」。通院支援は喫緊の課題です。

## 介護 介保

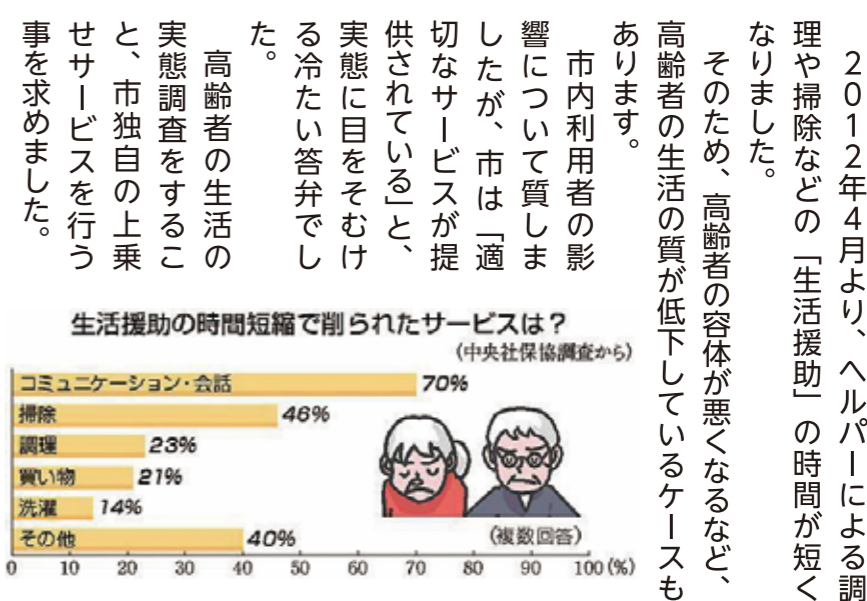
### 軽度者切り捨てやめよ

県内初  
介護予防・日常生活支援総合事業始まる!

今年4月から「介護予防・日常生活支援総合事業」がスタートしました。これは、介護の質が低下するのを防ぐため、総合事業の導入は「要支援」に引き上げ、2015年の介護保険法の改正で、国は「要支援者」を介護保険給付から外そうとしています。

しかし、この事業の予算は介護給付費の「4%以内」と上限が設けられました。さらに、サービス内容や職員の資格・人員配置や利用料など、全国統一基準がありません。

日本共産党は、その人の必要に応じた介護の仕組みとなるよう、介護保険の抜本的な改善に向けて取り組んでいます。



ヘルパー生活援助  
時間短縮やめよ!

2012年4月より、ヘルパーによる調理や掃除などの「生活援助」の時間が短くなりました。

そのため、高齢者の容体が悪くなるなど、高齢者の生活の質が低下しているケースもありません。

市内利用者の影響について質しましたが、市は「適切なサービスが提供されている」と、実態に目をそむける冷たい答弁でした。

高齢者の生活の実態調査をすること、市独自の乗せサービスを行うことを求めました。

## 保育所の 耐震化を急げ!

### 安全な園舎を! 保育所耐震化率54.2%

市内には、公私立保育所それぞれ59所あります。

昭和56年の建築基準法以前の園舎は、公立28所・私立26所あり、市内保育所の耐震化率は54.2%である事が民生福祉委員会で明らかにしました。

全国の耐震化率は74.9%



耐震化が急がれる保育園舎

(2012年度厚生省調べ)で、全国水準からみても非常に遅れています。

早急に耐震診断・耐震補強を行うこと、施設整備費の予算を公私立保育所共に使えるよう、国に要望することを求めました。

## 校舎の耐震化はやく!

### 「全国ワースト」の 汚名返上を

福山市は、学校の校舎の耐震化が、全国1782自治体中、1742番目と、大変遅れています。

福山市が発表した「学校施設耐震化推進計画」は、「2020年度末までに100%を目指す」とのことですが、地震など、大規模災害の多発を受け、文科省は、「2015年度までに完了」



耐震化の遅れを指摘する、新聞各紙



耐震工事の進む校舎

するよう促しています。

しかし、福山市の計画は5年も遅い内容です。

市はこの理由を、「騒音や振動に配慮するため、工事が夏休み中に限定されています。しかし、呉市でも校舎の耐震化率は63%と、低い状態が続いています。したが、耐震化計画を3度見直し、2015年度末までには、耐震化率が95%になります。工事を前倒し、急いで耐震化を進めるよう、求めました。

## 栄養豊かな中学校給食の実現を! —6229筆の願いに答えよ—

市内36中学校のうち、内海町、新市町、沼隈町を除く28校は、中学校で給食がありません。市民グループ「中学校給食を実現する会」が、9月5日に、6229筆の中学校完全給食の実現を求める第1次署名を提出しましたが、これは、緊急の課題です。

### 中小企業に仕事がまわる 給食で600人超の雇用創出

28中学校へ、自校方式の給食室を建設した際の、経済波及効果を試算すると、66億4千万円、建設関連では、546人分の新規雇用が生まれます。一人親方の大工など、91人分の自営業者の仕事が生まれ、さらに、食材搬入業者と、農・漁業者などの関連産業は83



6229筆の署名の提出  
※「広島県産業連関分析ツール2008年版」を使用。広島県総務局統計課分析グループの監修による。

人の雇用増、そのうち、新規雇用は、56人となること分かりました。※中学校給食は、地産地消、食育推進、落ち着きのある教育環境をつくることなどで、雇用が増え、税収増につながるなど、メリットが多く、市民からも熱望されています。

実施へ踏み出すことを強く求め、(仮)「中学校給食検討委員会」を立ち上げ、様々な課題の検討を始めることを求めました。

### 高い水道料金 引き下げを!

水道料金は、20トン以下の使用量であれば、1トンでも19トンでも同一料金です。単身者や高齢世帯など、使用水量が少ない世帯には、不公平です。

水道料金を、使用量にあわせて料金に引き下げるよう要望したところ、「その後検討する」との答弁を引き出しました。

### 給水停止 やめよ!

水道水を給水停止された世帯が、2012年度は2994件にも達しています。

給水を停止すると、いかに関わる重大な事態に発展する可能性があります。

不況で市民生活が厳しくなる中、暮らしを守るため、水道料金の減免制度の拡充と、「給水停止は原則禁止」とするよう、求めました。